処 方 箋

カルテ番号 発行 年 月 В 病 名 薬剤名(一般名):シスプラチン • 英名: cisplatin • 分類:抗腫瘍 • 分類 (略称): 白金製剤 • 用法:注 •表示区分:毒薬 [禁忌・慎重投与] 禁忌:重篤な腎障害、白金製剤に対する過敏症既往歴、妊婦または妊娠している可能性のある女性 [作用] 細胞内で構造中の塩素イオンが外れ、活性分子種となる。これが核酸塩基(G・A)に共有結合し、DNA 鎖内あるいは DNA 鎖 間に架橋を形成する。また、DNA とタンパク質の複合体も形成される場合もある。その結果、DNA の合成・複製や翻訳が阻害 されて細胞分裂が抑制される。 [適応] •睾丸腫瘍、膀胱癌、腎盂 •尿管腫瘍、前立腺癌、卵巣癌、頭頸部癌、 処 非小細胞肺癌、食道癌、子宮頸癌、神経芽細胞腫、胃癌、小細胞肺癌、骨肉腫、 方 胚細胞腫瘍(精巣腫瘍、卵巣腫瘍、性腺外腫瘍)、悪性胸膜中皮腫、胆道癌 ・以下の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法 悪性骨腫瘍、子宮体癌(術後化学療法、転移・再発時化学療法)、再発・難治性悪性リンパ腫、 小児悪性固形腫瘍(横紋筋肉腫、神経芽腫、肝芽腫その他肝原発悪性腫瘍、髄芽腫等) • 尿路上皮癌 [副作用] 急性腎障害、汎血球減少、聴力低下、難聴、耳鳴、悪心・嘔吐、下痢、口内炎、末梢神経障害、脱毛など ④豆知識(国試対策事項や使用の注意等) ●腎排泄型薬剤であり、近位尿細管において、急性壊死を起こす。 ●それを予防するため、使用の際は大量の生理食塩液や、利尿剤を併用し尿量を確保するハイドレーションを行う。 ●その際、硫酸マグネシウムなどを併用することで腎障害の軽減が期待できる。 ●白金に配位結合しているクロライドイオンが外れ、オキソニウムイオンに置き換わり活性体となる。 ●白金の酸化数は(+2)、配位数は4 ●クロライドイオンの多い生理食塩液で必ず希釈すること。その他の輸液で希釈すると液中で活性体となり副作用が強くでやす

くなる。